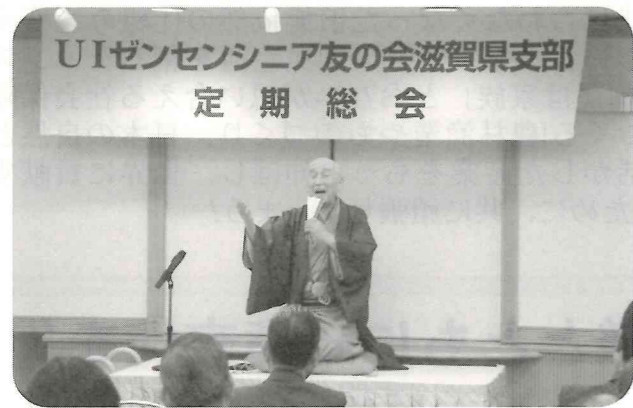


いまいま
元気に活動中

UIゼンセンシニア友の会 シニア会員と現役役員が協力 和気あいあいの雰囲気活動

UIゼンセンシニア友の会滋賀県支部は、UIゼンセン同盟加盟組合のOB・OGで構成し、現在滋賀県に2,859名の会員がいます。年に5~6回の幹事会を開催し、会員が楽しく参加できる交流行事を中心に企画しています。毎年恒例となったグラウンドゴルフ大会では、参加者の腕前が年々向上し、最近では準備したホールインワン賞が足りなくなるほどです。



体験を語りつごう

~平和の大切さを
若い世代に~

毎年この時期になると過ぎ去った第二次大戦をめぐる新しい事実の発見や証言も含めた歴史の数々が、テレビや新聞で特集されます。

今日も、沖縄戦での島民の死に直面した様相が生々しく放映されていました。

私は、小学校(国民学校)五年生のとき北朝鮮で、昭和20年8月15日の終戦を迎え、翌年四月にソ連兵や朝鮮警備隊のきびしい警戒網のなか、昼間は山の中に隠れ、夜中に歩き続けて三十八度線を越えて日本に引



また、年に一回の定期総会も行事と懇親会を兼ねて行なうこととし、最近では2006年に「船上琵琶湖遊覧総会」、2007年に「渡岸寺拝観と須賀谷温泉総会」、2008年には「笑福亭円笑氏による落語・漫談総会」と趣向を凝らして実施し、終始楽しく和やかな総会となりました。

一方、高齢者のための政策要求行動として「後期高齢者医療制度の廃止を求める団体署名活動」を行ったり、核禁活動の一環として「核兵器廃絶を求める1000万署名活動」等の大衆運動にも取り組んでいます。しかし何と言っても我々の組織は、シニア会員と現役役員の皆さんが共に参画し、和気あいあいの雰囲気の中で協力して活動できることが何よりも素晴らしいことではないかと思えます。今後も我々高齢者と若い人たちが、協同して暮らせる社会の実現を目指して活動していきたいと思っています。

UIゼンセンシニア友の会滋賀県支部
支部長 勝田 幸三

き上げて来ました。

事例をあげれば限りがありませんが、私たち一家の恐怖とか苦労は、多くの日本人が戦争による体験・死線との対峙・なめられた辛苦などを思えば物の数ではないと思います。現代は、戦争による恐怖を身近に感じることも少なく、満足とは言えないまでも、一応の生活が出来る衣食住をみると、これらは一体何によってもたらされたのか歴史をひもとき考え直してみる必要があると思えます。

また“古い話”などと言わず若い人達にも、これらの体験を語りつぎ、平和の大切さを伝えて行きたいものだと思います。

連合滋賀・高退協副会長(関労OBの会)
五十嵐 英雄

リフレッシュ 滋賀

第28号 2009.6.30
発行所:連合滋賀・高退協
発行責任者:吉川 浩次
編集責任者:山崎 長榮
大津市松本2丁目-10-6
TEL 077-523-0500
FAX 077-523-5600

滋賀から政権交代のうねりを!



連合滋賀会長
中村 憲市

一時回復を見せた内閣支持率が再び急落する麻生政権。人気回復を狙った定額給付金をはじめとする一時しのぎのバラマキや奇策も通用せず、国民には愚策にしか写っていません。また、2009骨太方針も紆余曲折の末の閣議決定。年金など社会保障制度の将来展望や財政再建の筋道はまったく見えません。さらに郵政人事や東国原宮崎県知事への出馬要請に伴う自民党内の混乱など、もはや自民党に政権担当能力はありません。

小泉政権時代を中心に自公政権下で進められた市場万能・新自由主義の政策で、社会のセーフティーネットは弱体化し、格差拡大が進みました。さらにアメリカ発の金融危機に伴う未曾有の景気悪化で、国民の雇用不安や生活不安は一段と高まっています。

こうした閉塞した状況を打ち破るには、「政権交代」しかありません。高齢者をはじめ誰もが安心して暮らせる社会にするために、官僚主導の政治から国民主導の政治への転換を実現しなくてはなりません。そのためにも、衆議院総選挙において、滋賀の四選挙区すべてでの完全勝利をめざし、高退協・現役一体となった取り組みをお願いします。

介護保険料徴収は口座振替との選択制を実施せよ 「年金からの天引き」問題で県・市長会・町村会へ要請行動

連合滋賀・高齢退職者団体協議会は、2月20日、介護保険料の徴収方法に関して、「現行の年金からの天引きに加え、口座振替も選択できるようにすること」などを求めて、滋賀県、滋賀県市長会、滋賀県町村会に対する要請行動を展開しました。

介護保険の保険料の徴収方法を巡っては、政府は年金からの特別徴収(天引き)と口座振替の選択制について、4月以降準備が整った自治体からの実施を目指していますが、これに対して全国市長会が「保険財政に影響が出る」「移行に金がかかる」などを理由に異を唱えています。この日の要請行動は、こうした状況を受けて全国的な取り組みとして実施したものです。

要請行動では、連合滋賀・高退協の吉川会長から要請書を手渡すとともに、「年金



は本来、まず本人に全額支払われるべきである。年金から所得税、健康保険料、介護保険料、住民税が天引きされたら年金収入は限りなく減少する。」などを指摘し、住民である高齢者の意見を十分に聞き、積極的な対応を行うよう強く求めました。

誰もが安心して暮らせる社会にするために、政権交代に向け高齢者の怒りを結集しよう!

政権担当能力を喪失している麻生政権に対する国民の不満は充満しています。国民の声は「政権交代の実現」です。民主党の衆議院議員の皆さんからの政権交代に向けた熱い決意のメッセージです。

政権交代の実現が第一

衆議院議員 川端 達夫

連合滋賀高退協の皆さまには、お元気にてそれぞれの立場でご活躍のこととお察し申し上げます。日頃は各方面にわたり、力強いご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。民主党は新執行部で船出をいたしました。私も副代表に再度就任し、一翼を担い活動を展開することになりました。

さて、政府・与党は借金を財源とする、その場しのぎのバラマキでこの不況を乗り切ろうとしています。麻生政権の「経済対策」は「政策」ではなく一時的な「対策」にすぎません。医療・介護・子育てなどは恒久的な政策が安心感を生みます。「1回こっきり」「3年限り」では増税を含めて将来不安が高まるばかりです。民主党は「生活が第一」の経済対策を実行いたします。国民の生活を良くすれば、経済が良くなります。来る戦いで「政権交代」を実現し、新しい日本の夜明けを迎えましょう。変わるのはあなたの生活。変えるのはあなたと民主党です。新しい国民生活をつくるため、一緒に戦いましょう。明日の日本のために!

皆さまの倍旧のご支援をお願いいたします。



滋賀1区



滋賀3区



新しい政治と生活を創ろう!

衆議院議員 三日月 大造

いつもありがとうございます。38才になりました。おかげ様で、ますます元気に活動しています。

いよいよ総選挙が目前に迫りました。「霞が関(官僚)」に任せきりで、国民の痛みを少しも分かろうとしない無責任な政治から、「国民の生活が第一。」の政治にチェンジしなければなりません。

とりわけ、お年寄りや子どもたちが「安心・安全」に暮らせる、希望の持てる日本を創るためには、公的年金制度や医療制度の改善、子育て支援や教育の充実に向けた改革が必要です。

「総選挙での政権交代」は、日本の経営改革です。税金の集め方と使い方、偏った国と地方の関係など、今の時代に合わなくなった旧態依然の仕組みを変えて、新しい日本を、新しい国民生活を創るチャンスです!「国民は家族」とお互いが思い合える社会保障制度をつくる!農林漁業やものづくり、日本の自然と技術を活かした産業をもっと伸ばし、世界に貢献する!そのために、共に頑張りましょう!

「国民生活最優先」の政治を...

衆議院議員 田島 一成

平素は、田島一成に対しまして温かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。彦根市議会議員に初当選してから、早くも18年が経ちました。活動の舞台は県会、国会と変わりましたが、「政治は命を託された仕事だ」と肝に命じ、「現場主義」を貫いてまいりました。この先もためまぬ努力精進を重ねて参ります。

ご心配をお掛けした小沢代表の辞任でしたが、この度鳩山新代表を先頭に挙党一致で再スタートすることになりました。目指すのは引き続き「国民生活最優先」の政治です。安心出来る医療・年金・介護のしくみをつくるためにも、先ずは迷走を続ける自民党麻生政権を倒し、税金の使い方を根底から見直さなければなりません。そのために、目指す政権交代は私たちに課せられた使命なのです。

先送り続きだった解散総選挙の足音がようやく近づいてきました。おそらく最後のチャンスとなる政権交代を賭けた「逆転の夏」に、是非お力をお貸しください。よろしく願い申し上げます。



滋賀2区



滋賀4区



皆様とともに政権交代を!!

衆議院議員 奥村 展三

民主党は、過日開催された両院議員総会にて、鳩山由紀夫新代表を選出し、挙党一致体制をスタートさせました。民主党の新体制において、私は、党七役である「広報委員長」の職に就任させていただくこととなりました。

小沢一郎前代表時には、役員室長(総務委員長代理役員室担当)として、2年半に亘り、良き経験をさせていただき、党全体に活力ある体制の確立に努めてまいりました。次期衆議院議員総選挙を目前に控えたなかでの今回の役員人事で、広報委員長という重責を命ぜられたことは、大変光栄であり、身も心も引き締まる思いであります。国民の皆様、鳩山体制の新しい民主党の掲げる日本の政治をご理解していただけるように、わかりやすい民主党広報に努めてまいります。

今日までのご恩を忘れることなく、皆様とともに政権交代に向け、さらに頑張る所存であります。今後とも更なる前進へのご指導ご鞭撻を賜ります。